

CURIO[®]

instruction

intro / 前書

この度は CURIO stroller A または stroller AS をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

CURIO stroller はお子様が首がすわってから体重15kgになるまで（月齢目安として3ヶ月から3～4歳まで）対象の乳幼児1人用ストローラーです。

この取扱説明書に記載されていない方法でお使いになった場合、大変危険でありCURIO strollerの機能も充分に発揮されません。ご使用になる前にこの取扱説明書を読んで安全に正しくお使いください。

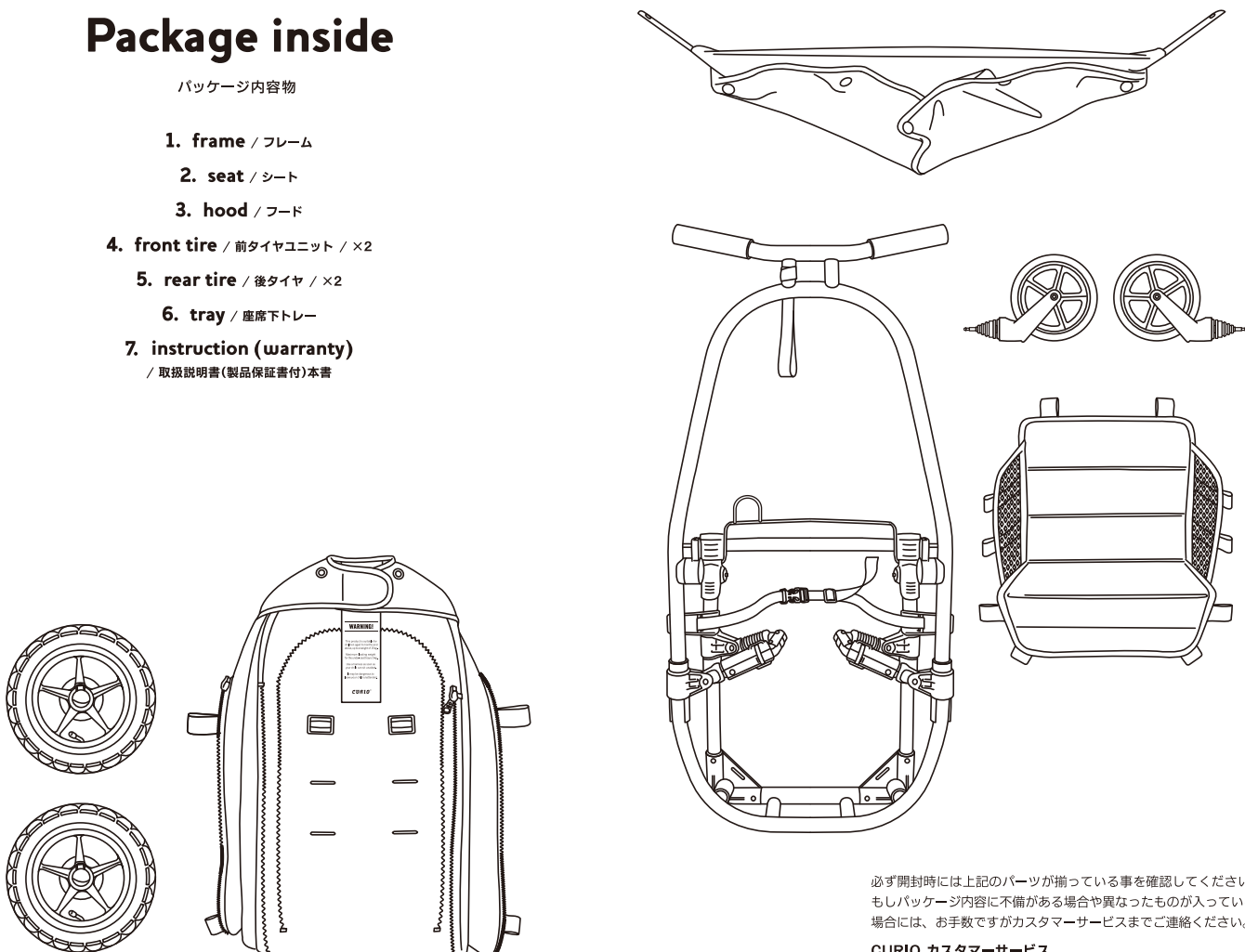
（本書は stroller A / stroller AS 兼用の取扱説明書となります。本書ではstroller ASのイラストで統一しています。一部形状が異なりますが stroller A とともに共通です。）

* 本取扱説明書はすぐに読む事のできる場所に保管してください。
また他の方にお譲りになる際は本書も一緒に必ずお渡してください。

Package inside

パッケージ内容物

1. frame / フレーム
2. seat / シート
3. hood / フード
4. front tire / 前タイヤユニット / ×2
5. rear tire / 後タイヤ / ×2
6. tray / 座席下トレイ
7. instruction (warranty)
/ 取扱説明書(製品保証書付)本書

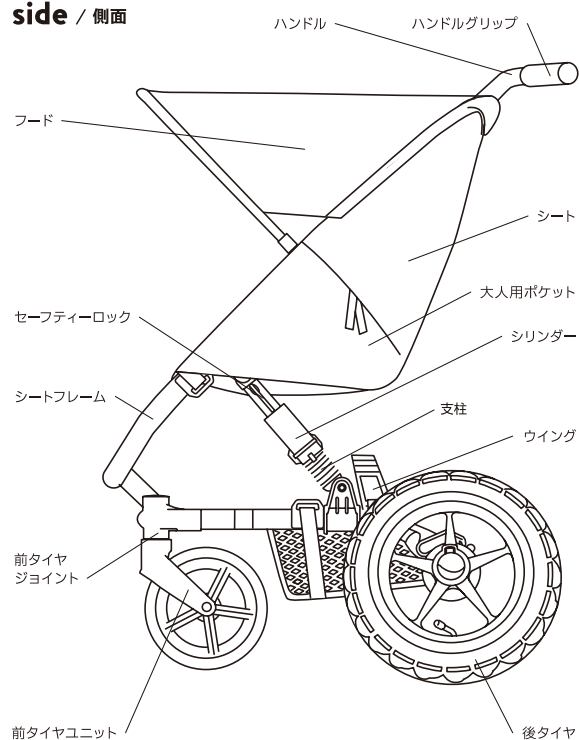


必ず開封時には上記のパーツが揃っている事を確認してください。
もしパッケージ内容に不備がある場合や異なったものが入っている場合には、お手数ですがカスタマーサービスまでご連絡ください。

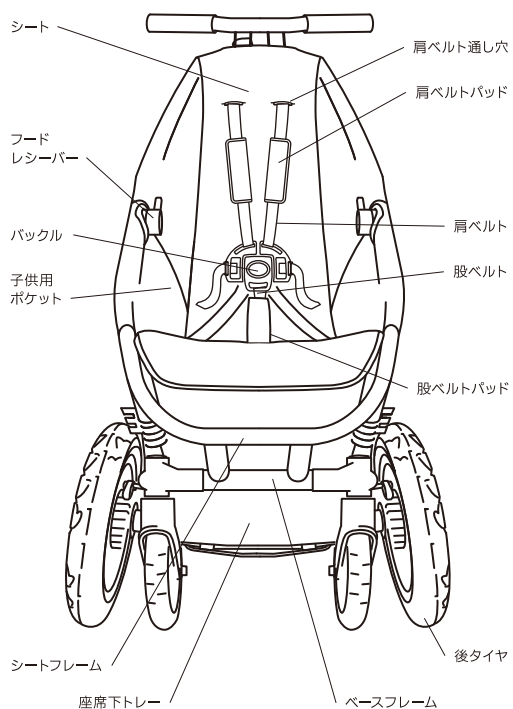
CURIO カスタマーサービス
電話：058-271-7430
メールアドレス：info@curio-web.com
営業時間：10:00-17:00（土日祝日を除く）

What they call 各部の名称

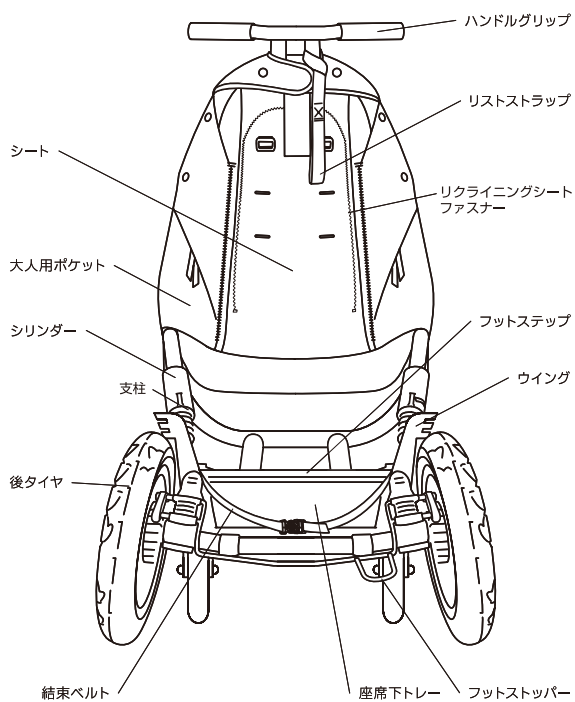
side / 側面



front / 正面



back / 背面



Before use ご使用いただく前に

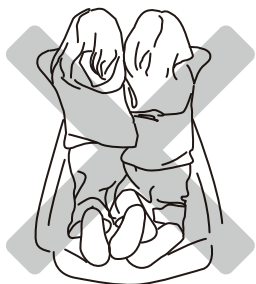
warning / 警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷を負う可能性があります。



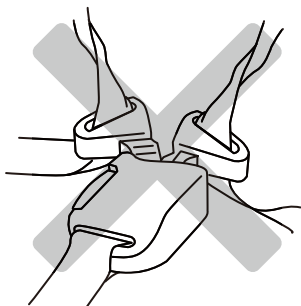
01 このストローラーは1人乗り(体重15kg以下)専用

大人の方、体重15kgを越えるお子様は決して使用しないでください。またストローラーに同時に2人以上のお子様を乗せないでください。



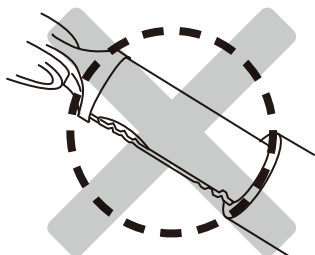
02 5点式シートベルトを必ず適切な位置で正しく装着する

どんな場合や状況でも、それがたとえわずかな時間でもお子様をストローラーに乗せる際には必ずシートベルトを装着し、ベルトに緩みがないか、バックルがしっかりと差込まれているかを確認、適切な位置で正しく装着してください。正しい位置に装着されていないとベルトが首に絡まり窒息したり、滑り落ちたりバランスを崩しストローラーごと転倒する可能性があります。



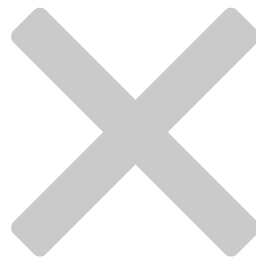
03 セーフティーロックを必ず確認する

ストローラーをご使用になる前には折りたたみ防止のセーフティーロックが掛かっているかを必ず確認してください。ロックが正しく掛かっていないと突然フレームが折りたたまれ、お子様が後ろ倒しになり怪我をする可能性があります。



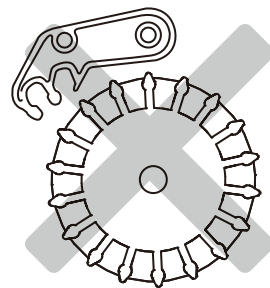
04 おりたたむ際シリンダーが上がりきってからおりたたむ。

おりたたむ際、左右のシリンダーが上まで上がりきってからシートフレームをおして下さい。シリンダーがはさまったままおりたたむと支柱が変形破損する恐れがあります。



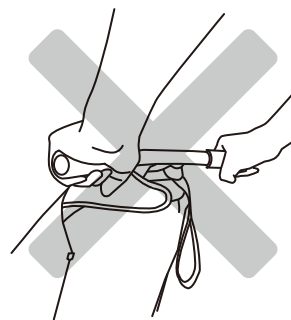
05 停車の際はフットストッパーを掛ける

お子様が乗っている場合でも、乗っていない場合でも停車する際は必ずフットストッパーをかけてください。わずかな傾斜でもストローラーが勝手に動き出す可能性があります。動き出したストローラーが周りの人々や物に接触し損害を与える可能性があります。ただし、フットストッパーが確実に掛かっていない場合衝撃が加わることで外れる可能性もあるので過信しないでください。走行中にフットストッパーを急に掛けないで下さい。



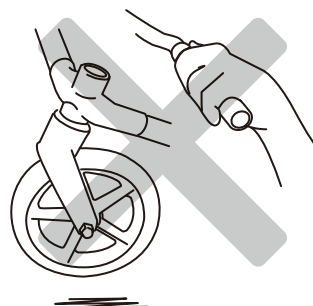
06 使用時は手首にリストストラップを装着する

ご使用者様はハンドルに取り付けられたリストストラップを手首に通してご使用ください。ストローラーが不意に手を離れ自走することを防止するためです。また、ストローラーが前転することを防止します。



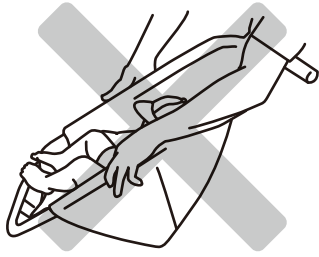
07 ストローラーを傾けたり前輪を浮かせたまま走行させない

ストローラーを傾けたり、前輪を浮かせたまま走行させないでください。たとえお子様が正しくシートベルトを装着していてもストローラーごと転倒する可能性があります。故障の原因にもなります。



08 お子様を乗せたままストローラーを持ち上げない

どんな場合や状況でも決してお子様を乗せたまま持ち上げないでください。ご使用者様が転倒したりお子様がストローラーより落下する可能性があります。特に着脱可能なフードをつかんで持ち上げると落下し大変危険です。



09 ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るさない

ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るしたり、ハンドルに操作以外の力をかけないでください。バランスが崩れストローラーと一緒にお子様が転倒、落ちる可能性があります。



10 お子様を乗せたままストローラーから離れない

どんな場合や状況でも決してストローラーに乗ったお子様を1人にしないでください。フットストッパーを掛けていても乗っているお子様の動きなどでストッパーが外れ、動き出したり転倒したりする可能性があります。決してお子様から目を離さないよう常に一緒に行動してください。



11 お子様をシートに立たせたり、シート以外の場所に乘せない

どんな場合や状況でも決してお子様をストローラーの中で立たせないでください。お子様やストローラーが転倒する可能性があります。同じく、シート以外の場所には決してお子様をわずかな時間でも乗せないでください。バランスが崩れ転倒する、もしくはお子様自身がバランスを崩して落ちたり、車輪やフレームの隙間に巻き込まれ怪我をする可能性があります。



12 お子様ToStrローラーを操作させない

ストローラーが転倒する、もしくはお子様が手や指をはさむ、頭を打つなどの思わぬ事故につながる可能性があります。特にお子様にストローラーの折りたたみや開閉は決してさせないでください。



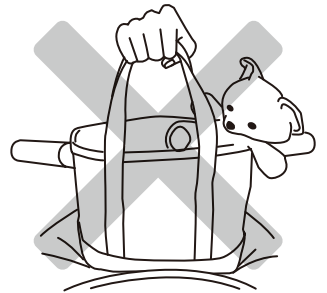
13 フットステップには立たせない

シート下のフットステップはお子様シートに座っている際や乗降する際の補助的な足置きです。お子様が体重をかけて立つとストローラーの転倒やお子様の転落につながる可能性があります。



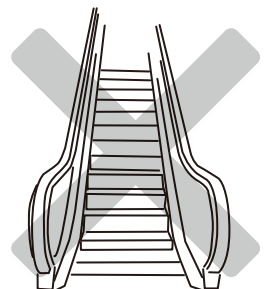
14 フードの上には物を置かない

フードはお子様への日差しを避けるために作られています。どんな場合や状況でも決してフードの上には重さなど関係なく物を置かないでください。お子様の快適な空間を侵害するうえ、頭に物が当たる、物が落ちる、フードが外れる可能性があります。



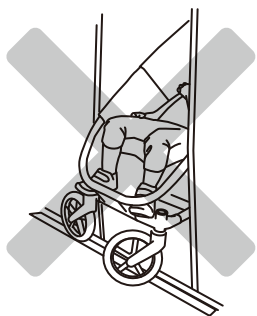
15 階段やエスカレーターなどで使用しない

どんな場合や状況でも決して階段やエスカレーターなどでは使用しないでください。ストローラーがバランスを崩し転倒、お子様が落ちる可能性があります。



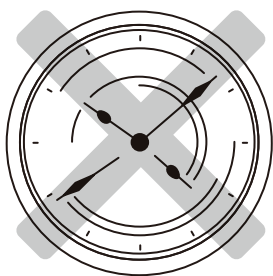
16 建築物や乗り物のドアでは注意する

ご使用者様が操作することのできない電車やバスのドア、自動ドアや回転ドアにはさまれると重大な事故につながる可能性があります。それらのドアを通過される際には必ず周囲の状況を確認し適切な状況判断をしてください。



17 長時間の使用はしない

夏季の晴天時、日中は太陽光や路面の影響によりストローラーの中の温度は非常に高くなり熱中症などを引き起こす可能性があります。また冬の厳寒時の長時間のご使用もお子様の身体への負担が大きいですので避けてください。



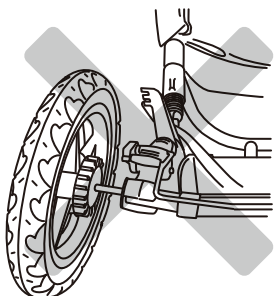
18 ストローラーの開閉時は周囲を確認する

ストローラーの開閉時にはハンドルを持ち、周囲にお子様や人がいないことを必ず確認してください。お子様や人に当たったり、手や指を思わぬ場所に置いてはさんでしまう可能性があります。



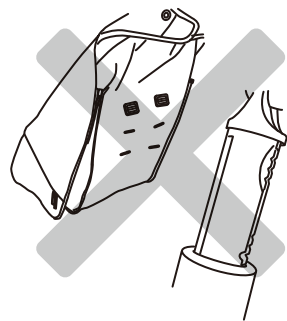
19 使用する前に各パーツが正しく装着されていることを確認する

ストローラーを使用する前にはシートや車輪などの各パーツが正しく装着されているかをお子様を乗せる前に必ず確認してください。各パーツを引っ張ったりして確実に固定されているかを使用される方がご自分でご確認ください。



20 使用する前に毎回各部の点検をする

ストローラーのご使用の際には毎回必ず各部の点検をしてください。セーフティロックやシートファスナーはもちろん、車輪の空気圧などもご確認ください。フレームやプラスチックパーツに破損、リベットやナットの緩み、ご使用中に操作性の異常を感じた場合はすぐに使用を中止してご使用者様で直さず、取扱説明書にある CURIO カスタマーサービスまでご連絡ください。



21 通常歩行のスピードで走行する

このストローラーは必ず通常の歩行速度、時速3〜4kmで走行させてください。

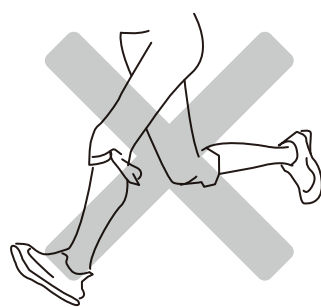
*CURIO stroller Rのみオプションのアスリートジョイントを装着の際は時速5〜7kmの走行速度が可能です。



22 ジョギングやランニングに使用しない

お子様を乗せている、乗せていないに関わらず決して通常の歩行速度以上、ジョギングやランニングで使わないでください。ストローラーやご使用者様が転倒し思わぬ事故につながる可能性があります。

*CURIO stroller Rのみオプションのアスリートジョイントを装着の際は時速5〜7kmの走行速度が可能です。



caution / 注意

誤った取扱いをすると重傷を負う、または物的損害を負う可能性があります。



- 01** お子様を乗せる以外の目的で決してストローラーを使用しないでください。破損や故障の原因となります。
- 02** このストローラーはお子様専用です。大人の方や体重15kg以上のお子様に乗ると破損や故障の原因となります。
- 03** シート下トレイの最大荷重は5kgです。5kg以上の荷物を載せたりスペースに無理に荷物を詰め込むことは破損の原因となります。
- 04** 可動部での指や足のはさみ、巻き込まれに注意してください。
- 05** 溝や穴に車輪が入って抜けない時は無理に押し出さないでください。故障の原因となります。踏切の線路の溝など緊急時以外はお子様を降ろしてから本体を持ち上げて引き出してください。
- 06** お子様に乗っていないくても坂道や車道に近い歩道に放置しないでください。
- 07** 折りたたんだ際は本体の上に荷物など置かないでください。重い荷物を長時間載せたりしているとフレームの変形や故障の原因となります。
- 08** 直射日光を避け室内で保管してください。野外での保管はタイヤゴムの変質、シートの変色や金属部のサビの原因となります。気候の変化が極端な場所での放置や保管にはカバーをするようにしてください。
- 09** 分解や改造をしないでください。ご使用者様ご自身で行うのは破損の原因となり危険です。
- 10** 電車やバス内では十分気をつけてご使用ください。電車やバス内では必ずフットストッパーを掛け、カーブや急ブレーキの際に転倒しないようご注意ください。
- 11** 泥水の中や砂場で走行させないでください。ストローラーの可動部や回転部に砂や泥などの異物が入り故障の原因になります。
- 12** 積雪や凍結している路面では使用しないでください。滑りやすい路面での使用はお子様、ご使用者様ともに転倒など思わぬ事故の可能性があります。
- 13** 雷などの悪天候の際には使用しないでください。落雷など大変危険です。
- 14** 連続しての使用は1時間以内にしてください。長時間の連続使用はお子様の身体の負担になります。
- 15** 2台のストローラーを連結させて使用しないでください。

prohibition / 禁止

絶対にしてはいけない内容です



- 01** 大人の方がストローラーに座ること
- 02** CURIO カスタマーサービス以外での分解、組立て、改造
- 03** シートをはずした状態での使用
- 04** ストローラーに急激に力をかけたり、落下させた後の使用
- 05** ネジやナット、リベットをはずしての使用
- 06** 荷物などの運搬としての使用
- 07** お子様の遊び道具としての使用
- 08** その他、お子様を乗せる以外での目的の使用

How to build

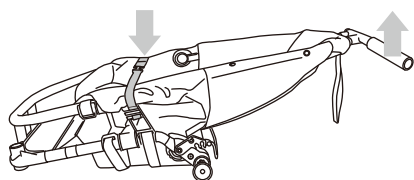
組立て方法

フレーム

01 折りたたんであるフレームを引き起こします。

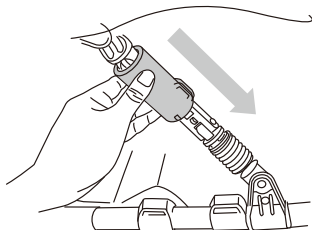
結束ベルトを外し ハンドル部を握り上部に引き起こします。

- 警告 / ストローラーの開閉時は周囲を確認する



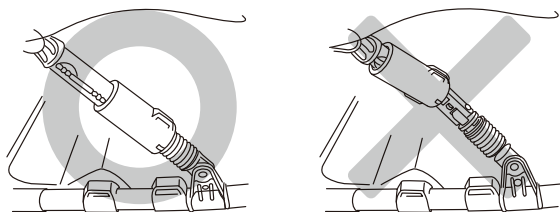
02 左右のシリンダーをスライドさせます。

ハンドルもしくはシートフレームを支えながら左右のシリンダーを手動でスライド（下降）させます。（2013年モデルまではシリンダーは自動で降下しましたが、支柱の仕様変更によりシリンダーは自動降下しません）



確認 1：フレームを自立させるためのシリンダーが下まで下がっていることを目で確かめてください。

確認 2：目で見てもサスペンション部が直線になっているかを確認してください。直線になっていない場合やシリンダーが下まで下がりきっていない場合には、再度しっかりとフレームを引き起こしてください。



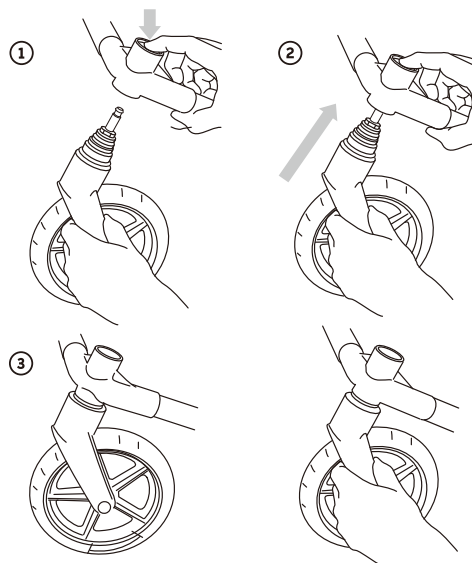
前タイヤユニット

01 前タイヤユニット（小さい方）を取付けます。

ベースフレーム前方のプラスチック部中央のボタンを押しながら前タイヤユニットを差込みます。（同一構造なので左右は関係ありません）

- 注意 / 可動部での指や足はさみ、巻き込まれに注意してください

確認 1：差込み後、前タイヤを引っ張って確実に固定されたかを確認してください。



02 同様の手順でもう片側の前タイヤユニットも取付けます。

確認 1：必ずボタンを押しながら、カチンと音がするまで奥まで差込んでください。

確認 2：差込み後、前タイヤユニットを引っ張って確実に固定されたかを確認してください。

後タイヤ

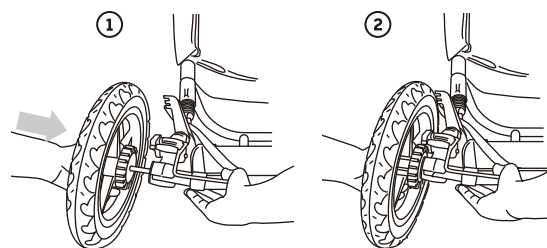
空気を適正に入れた状態でお客様にお届けします。

01 後タイヤ（大きい方）を取付けます。

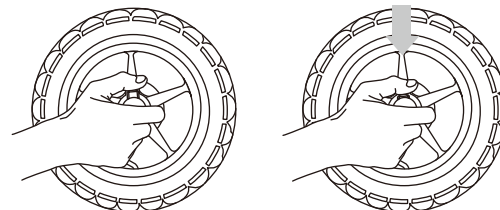
保護キャップを後輪シャフトから外したうえ車体を軽く持ち上げ、歯車側を内側にしてカチッと音がするまで後タイヤを最後まで深く差込みます。（同一構造なので左右は関係ありません）

- 注意 / 可動部での指や足はさみ、巻き込まれに注意してください
- 注意 / 保護キャップはなくさないように保管してください。

確認 1：車軸シャフトに対して直角に差込んでください。



フットブレーキが下がっていないか確認してください。
* 下がっている（ロックした）状態だとタイヤが装着できません。



後タイヤを外す時はボタンを押しながら、車軸から引き抜く様に外してください。

02 確実に装着されているか強く引っ張って確認してください。

- 注意 / 可動部での指や足はさみ、巻き込まれに注意してください

確認 1：車輪が少しでも動いたり、抜けるようであれば、もう一度車輪を外して最初から取付けをやり直してください。

03 同様の手順でもう片側の後タイヤも取付けます。

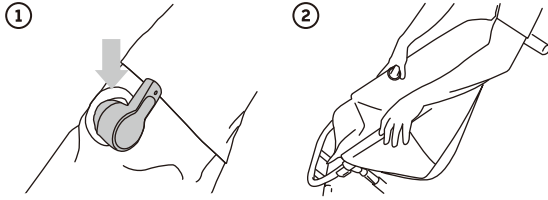
シート

シートを取り外した場合は次の手順で取付けください。

01 シートを取付けます。

シートのサイドフラップにある円状の開口部をフレーム左右に付いているフード取付用のフードレシーバーに奥まで通したうえ、車体前方から外側に向かってフレームに沿って巻き込んでください。

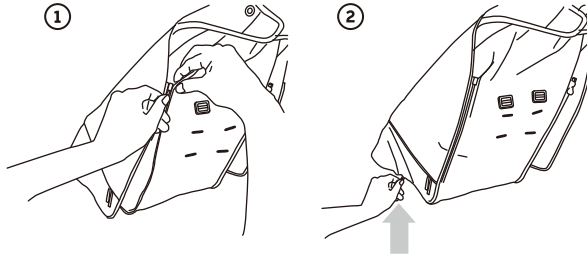
確認 1: サイドフラップの円状の開口部からフードレシーバーが根元から外に出ていることを確認してください。



02 ファスナーを閉めます。

サイドフラップの端のファスナーレール部をシート背中側に付いているファスナーレールと位置を合わせ、一般の服と同様にファスナーをかませてレールの先端までしっかりと閉めます。

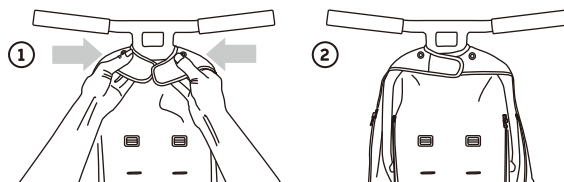
確認 1: ファスナーは必ずシート底面先端まで閉まっている事を確認してください。



03 マジックテープ部を張り合わせます。

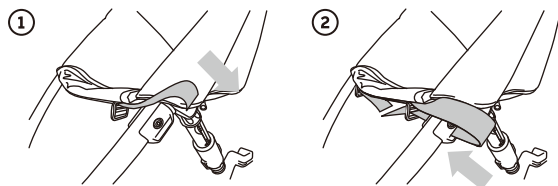
シート上部のマジックテープ部を本体フレームのハンドル付根部分に巻き込むようにして張り合わせます。

確認 1: マジックテープが隠れるようにしっかりときつく張り合わせてください。



04 マジックテープ付ベルトを差込みます。

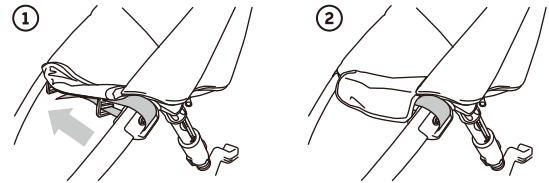
シート座面前方の下、マジックテープ付ベルトの先端を側面のフレームに付いているプラスチックパーツの穴に外側からフレームを巻き込むように差込みます。



05 シートを張ります。

シート下の付いているプラスチック部品の穴を通し、強く引っ張りながらシート下部でマジックテープに張り合わせます。もう片側も同様に貼付けます。

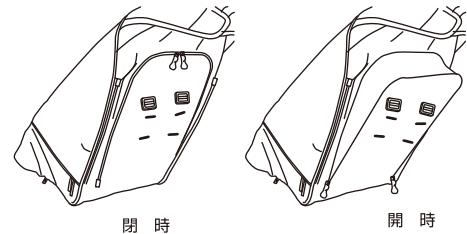
確認 1: シートの張り具合はお好みがありますが、最初は一度強く張った状態でお使いください。そのうえでお客様の体重、お好みに合わせて調節をしてください。



リクライニングシート

リクライニング機能付シートは、シート背部ファスナーの開閉により2段階のリクライニングが可能です。

ファスナーを閉める際、側面のマチの布地の巻き込みに注意してください。お子様がお乗りになっている時にリクライニング開閉をする際は、お客様の頭を支えながら行ってください。



シートベルト

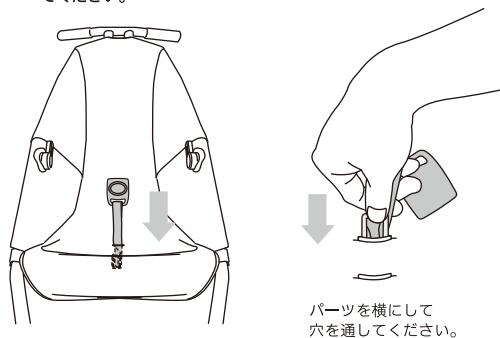
装着した状態でお客様にお届けします。取り外した場合は次の手順で取付けてください。

01 股ベルトを取付けます。

バックルの反対側についているベルト先の樹脂パーツを、シート座席下部の穴に差込みます。穴を貫通させる時は樹脂パーツを横にして通してください。(穴位置は2段階ございますので、お子様の身長に合わせて調節してください)

確認1: ベルト部分がねじれていないか確認してください。

確認2: 樹脂パーツがストッパーとなりシートから抜けないか引っ張って確認してください。

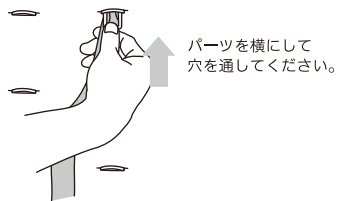


02 肩ベルトを取付けます。

バックルの反対側についているベルト先の樹脂パーツをシート背面部の穴に差込みます。樹脂部品は樹脂パーツを横にして穴を通してください。(穴位置は3段階ございますので、お子様の身長に合わせて調節してください)

確認1: ベルト部分がねじれていないか確認してください。

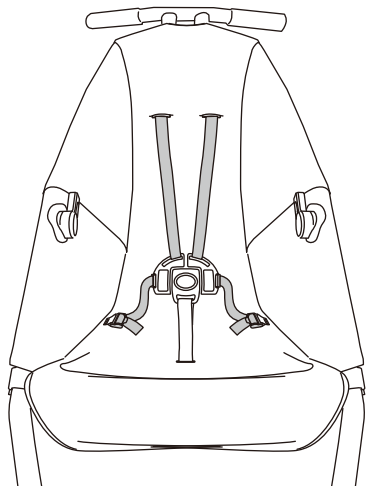
確認2: 樹脂パーツがストッパーとなりシートから抜けないか引っ張って確認してください。



03 肩ベルトとチェストベルトを取付けます。

チェストベルトを左右それぞれのベルトに通したうえ、肩ベルトを股ベルトのバックルに通し、シート側面下部の樹脂バックルに通して装着させます。

確認1: つながったベルト部分にねじれがないか確認してください。



04 ベルトが抜けないか確かめます。

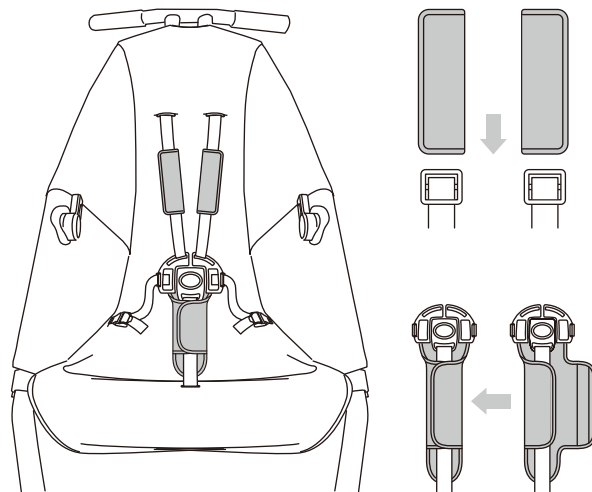
それぞれシートに通した樹脂パーツが穴から抜けないようにストッパーの役割を果たしているか前面からベルトを強く引っ張り抜けないことを確かめます。

確認1: 穴を通すために横向きにして差込んだ樹脂パーツがシートを完全に抜けているか最後にもう一度確認してください。

05 肩パッドと股パッドを装着し、チェストベルトの調整をします。

バックルより上の左右のベルトに肩パッドを、股ベルトには股パッドをそれぞれ装着します。

確認1: お子様の肩上部から胸にかけてパッドの位置がくるかお確かめください。

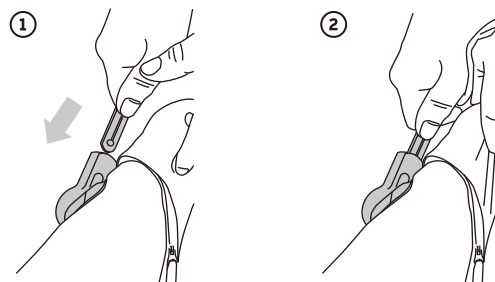


フード

01 フードを取付けます。

フードについているプラスチックフレームの先を、本体のフレーム内側左右についているフードレシーバーに奥までしっかりと差し込みます。

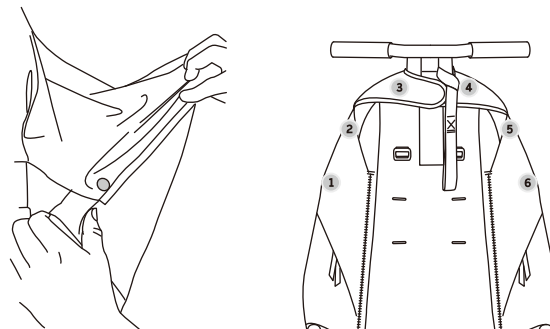
確認1: 差し込んだ後、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。



02 ホックボタンを取り付けます。

フードに付いているホックボタンをシートについているホックボタン6箇所それぞれ取り付けます。

確認1: フードを前後に開閉させてスムーズに動くこと、留めたホックが外れていないことを確認してください。

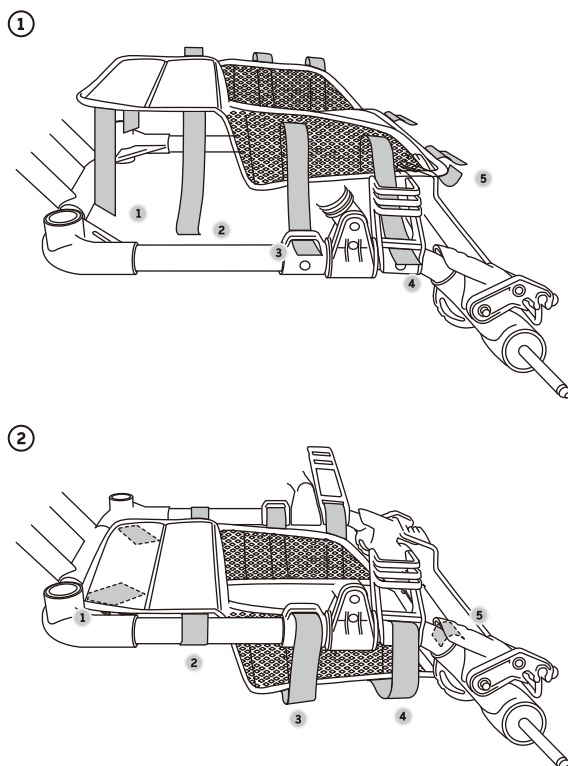


座席下トレイ

装着した状態でお客様にお届けします。取り外した場合は次の手順で取付けてください。

01 座席下トレイを取付けます。

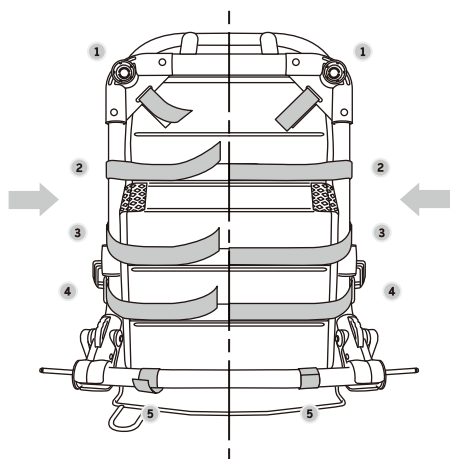
座席下トレイについているマジックテープ付ベルトを、プラスチック部品の穴にフレーム内側から外側へ通し、座席トレイ裏面のマジックテープにしっかり貼り付けます。(片側5箇所、計10箇所)



02 マジックテープ付ベルトを貼付けます。

マジックテープ付ベルトを左右対称に、余地のないように貼付けてください。収納トレイが適切な位置にくよう設計されています。

確認1：荷物は最大5kgまで積載可能です。上記10箇所が強く巻き込まれ、しっかりと貼り付いているか、トレイが荷物を置いても外れないか、手で適度な力をかけて押し確かめてください。



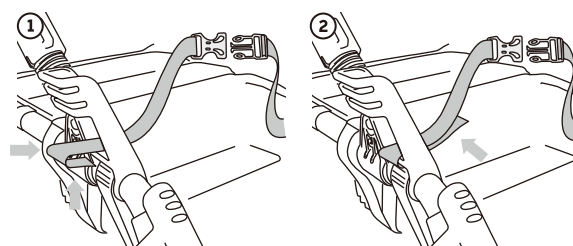
結束ベルト

装着した状態でお客様にお届けします。取り外した場合は次の手順で取付けてください。

01 結束ベルトを取付けます。

ベースフレームのウイングの最下部の穴に外側から内側に向かってベルトを通しマジックテープで留めます。(左右とも同様に留めます)

確認1：ベルトが後タイヤ側に巻き込まれないよう常に座席下トレイ側にくるようにしてください。



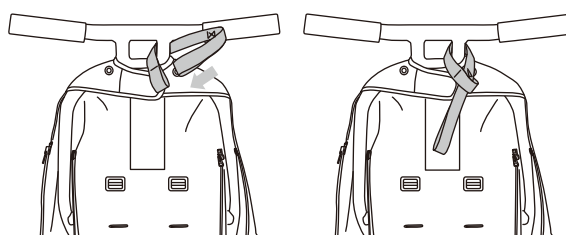
リストストラップ

装着した状態でお客様にお届けします。取り外した場合は次の手順で取付けてください。

01 リストストラップを取付けます。

フレームとハンドル連結パイプ部に、左右どちらでもお好みの方に巻きつけて装着してください。

確認1：手首に通して適切な位置に巻かれているか確認をしてください。



How to use

使用方法

in use / 使用時

フットストッパーの使用方法

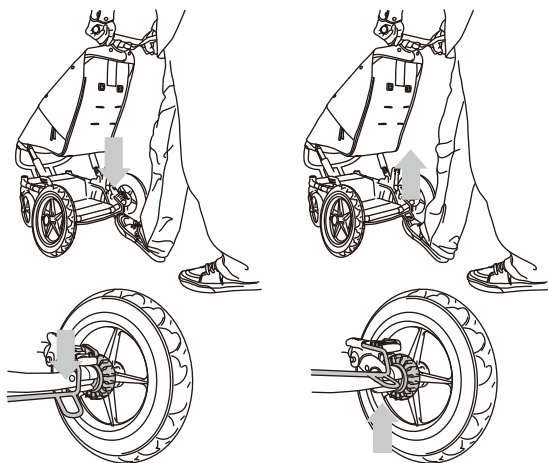
フットストッパーを上げ下げさせることによって後タイヤをロック、または解除することができます。

01 ロックをかける

ベースフレームの最後部右側のフットストッパーを足で押すことによってロックをすることが可能です。少しストローラーを押しながらフットストッパーをかけるとロックがしやすくなります。

- 警告 / 停車の際はフットストッパーを掛ける
- 警告 / 走行中にフットブレーキを掛けない
- 警告 / お子様を乗せたままストローラーから離れない

確認 1: ロックが確実に機能しているかストローラーを前後に動かし、ロックが後タイヤ内側の歯車状の部分にしっかりと噛み合っているかどうか目でも確認してください。



02 ロックを解除する

ロックを解除する場合は、ハンドルをしっかりと握り車体を固定させ、つま先をフットストッパーの下から強く押し上げてください。

- 注意 / 電車やバス内では十分気をつけてご使用ください

確認 1: ロックが確実に解除しているかストローラーを前後に動かし、ロックが後タイヤ内側の歯車状の部分から外れているかどうか確認してください。

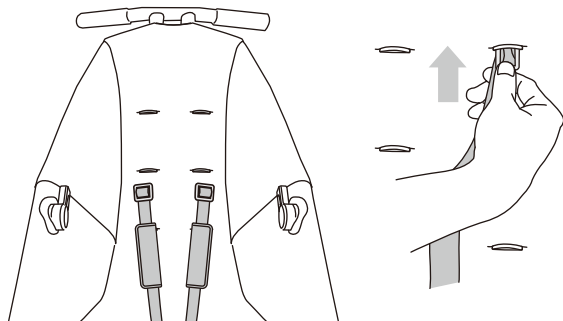
シートベルトの装着方法

お子様の成長やご使用状況に合わせて、シートベルトを調節してください。

01 背部の肩ベルトの位置を調節します。

お子様の身長に合わせてシート背部の肩ベルトの位置を調節します。肩ベルト先の樹脂部分をシートの調節穴に通す時は、樹脂部分を横にして通してください。

- 警告 / 5 点式シートベルトを必ず適切な位置で正しく装着する
- 警告 / 停車の際はフットストッパーを掛ける



02 肩ベルトの長さを調節します。

肩ベルトの長さ調節は、シート臀部の樹脂パーツ部分にて、もしくはバックルの左右パーツにて調節できます。バックルにての調節時は、サイドにあるプッシュ式パーツを押してください。

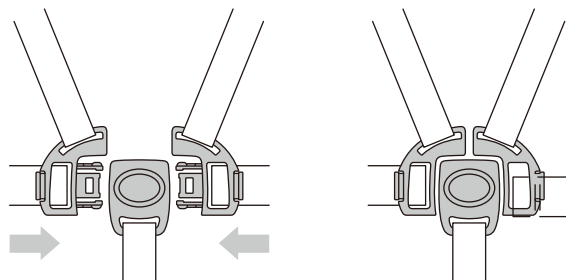


03 バックルを装着します。

肩ベルトのねじれがないかを確認しながら、バックルの左右のパーツを股ベルトに付いている中央のパーツに差し込みます。カチッと音がするまで強く差し込んでください。

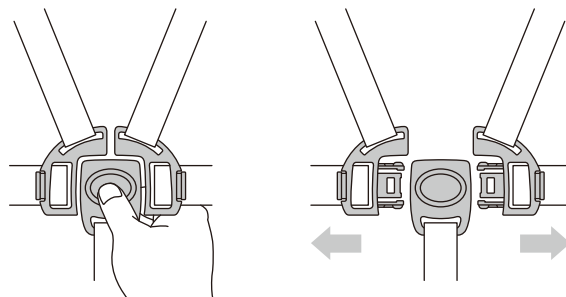
確認 1: バックルは安全のためお子様の力では取り外しにくいように設計されています。バックルは必ず大人の方が装着してください。

確認 2: バックルに差し込むパーツが、表裏が反対のまま強引に差し込みますとしっかりロックがされないほか、バックルが抜けなくなったり故障、怪我の可能性があります。正しくバックルに差し込まれているかを確認して確認してください。



04 バックルを脱着します。

バックルの中央にあるプッシュ式ボタンを押してください。



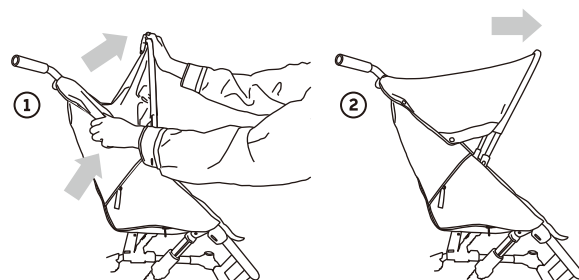
フードの使用方法

フードを開閉することでお子様を日差しから守ります。使用しない場合はフードごとストローラーから外すことが可能です。フードを交換する際は、フードフレームのみを上方向に引っ張り上げ外してください。

01 フードの開き方

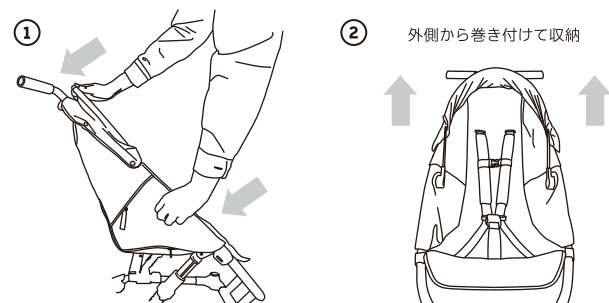
シートフレームを押さえながらフードフレームを持って開きます。フードがたるまない位置まで伸ばします。フードフレームは何段階かで留まる設計になっています。

- 警告 / フードの上には物を置かない



02 フードの閉め方

フードを使用しない時には、フードフレームを持ってシート側まで倒します。倒して余ったフード部分は伸縮性のある素材ですので、フードフレームに外側から巻き付けて収納します。



フードのプラスチックフレームは柔軟性のある樹脂で作られています。歪みが生じた場合は、手でゆっくりと曲げて矯正することができます。

- 注意 / 冬季は気温低下により樹脂が硬化している場合があります。その場合は室温に馴染ませてから曲げてください。

シートのサイドポケットについて

外出時に必要な荷物をシートの内側と外側に入れて持ち運ぶことが可能です。

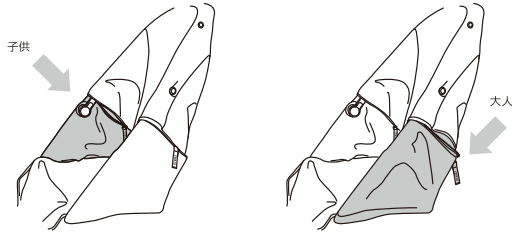
01 外側

基本的に使用者（保護者）の方の荷物を入れられるように設計されています。

内側

基本にお子様の荷物を入れられるように設計されています。

- 警告 / ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るしたりしない。



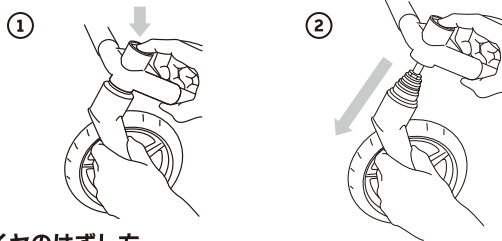
前タイヤユニットのはずし方

01 プラスチック部中央のボタンを強く押しはずします。

ベースフレーム前方のプラスチック部中央のボタンを強く押しながら、前タイヤユニットを下方に引き抜きます。（同一構造なので左右は関係ありません）

- 注意 / 可動部での指や足はさみ、巻き込まれに注意してください

確認 1：必ずボタンを押しながら前タイヤユニットをはずしてください。



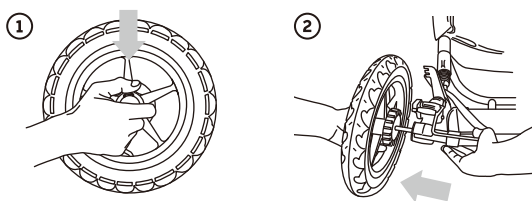
後タイヤのはずし方

収納時、移動時に後タイヤを外すことが可能です。前タイヤも外すことが可能です。

01 金属部を指先で押しながら外します。

片手で車体を軽く持ち上げながら後タイヤ外側の中心に付いている金属部を指先で押しながら、後タイヤをシャフトから引き抜きます。後タイヤを外した時には、お届け時にシャフトに付いていた防護キャップをシャフトに付けておくことをお勧めします。

確認 1：フットストッパーが解除されているか確認してから外してください。

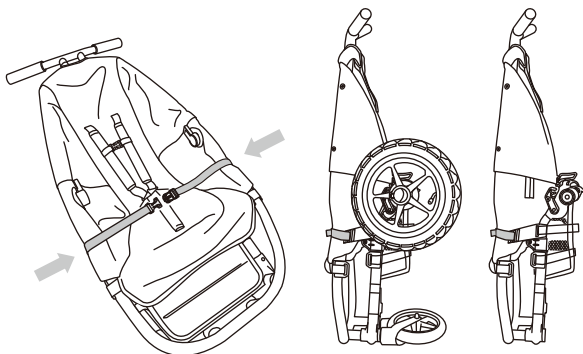


結束ベルト

折りたたみの際に車体が開かないように固定するほか、使用時には座席下トレイに載せる様々な荷物を固定、スーパーマーケットのカゴを積んで固定することも可能です。

01 結束方法

折りたたんだ後、ストローラーの外側をまわし留める事で車体が開かないようしっかりと固定できます。また、その際には後ページでの折りたたみヒモ用バックルを必ず留めてからにしてください。



自立／立てかけ

保管時、移動時にストローラー本体を自立させたり立てかけたりすることが可能です。

01 自立／立てかけ

折りたたみ、フレームが開かないように結束後、前部（前タイヤ）を下にして自立させることができます。自立はしますが、支える底面積が小さいので必ず倒れないように何かに支えられる場所に自立させてください。（前タイヤ、後タイヤを外しての自立も可能です）

- 警告 / ストローラーの開閉時は周囲を確認する
- 注意 / 可動部での指や足はさみ巻き込まれに注意してください
- 注意 / 折りたたんだ際は本体の上に荷物など置かないでください
- 注意 / 直射日光を避け室内で保管してください

確認 1：自立はしますが支える底面積が小さいので、しっかりと前後または左右に固定される様に必ず何かに支えられる場所に自立させてください。

確認 2：結束ベルトで固定しフレームが開かないか必ず確かめてください。

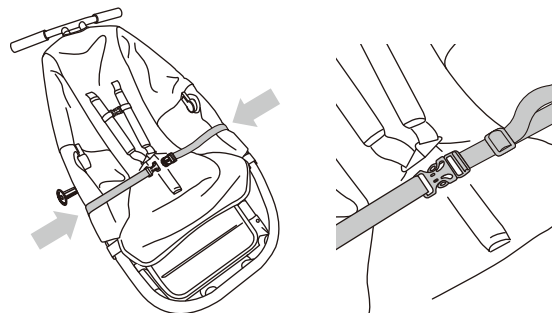
確認 3：お子様が触って倒れるような場所でないことを必ず確かめてください。

結束ベルトの使用法

折りたたみの際に車体が開かないように固定するほか、使用時には座席下トレイに載せる様々な荷物を固定、スーパーマーケットのカゴを積んで固定することも可能です。

01 フレームを固定する場合

ウイングに取付けられた結束ベルトをフレームの外側から巻込んでバックルを差込みます。差込んだ後、ベルトを引っ張るときにつく縛られフレームが開かなくなります。



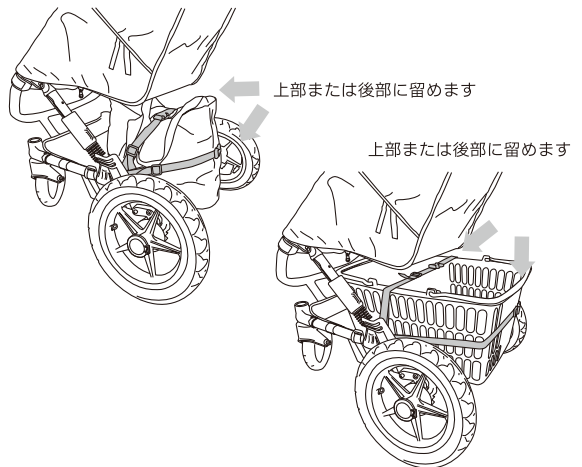
02 収納物を固定する場合

荷物が後ろに落ちないようにウイングに取付けられた結束ベルトを荷物の上部または後部にまわし、バックルに差込みます。

- 注意 / シート下トレイの最大荷重は5kgです。

確認 1：バックルがしっかりと差込んであるかを必ず確かめてください。

確認 2：結束ベルトで積載物が安定して留められているかを必ず確かめてください。



03 スーパーマーケットのカゴの場合

スーパーマーケットのカゴを載せた時は、カゴの上部面または後部面で結束ベルトを廻して留めることが可能です。スーパーマーケットのカゴがプラスチックですのでベルトが滑らないようにきつくベルトを絞りあげてください。

確認 1：スーパーマーケットのカゴがベルトできつく縛られて固定されていることを必ず確かめてください。

folding / 折りたたみ時

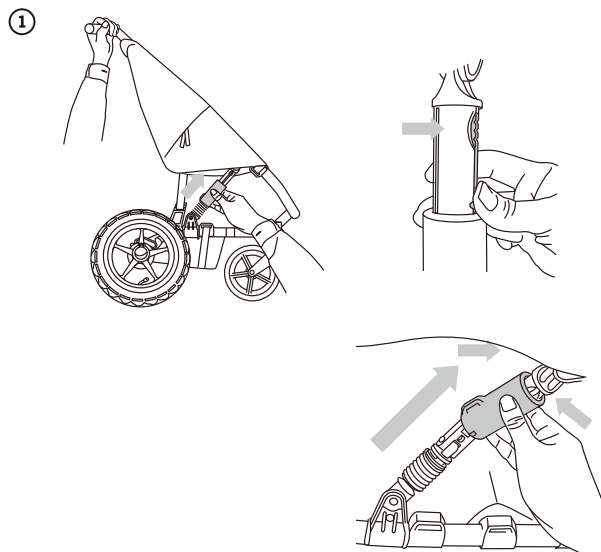
折りたたみ方法

ストローラーを折りたたむことができます。

01 片方(右)のシリンダーをスライドさせ、内側へ折り上げます。

ハンドル部を支えながら片方(右)のセーフティロックの下部をおさえながらシリンダーをスライド(上昇)させ内側へ折り上げます(図②)。

●注意 / シリンダーをスライドさせる際、ストローラーの側面もしくは前方から操作してください。後方から操作しないでください。シートフレームが折りたたまれた際にぶつかる危険があります。



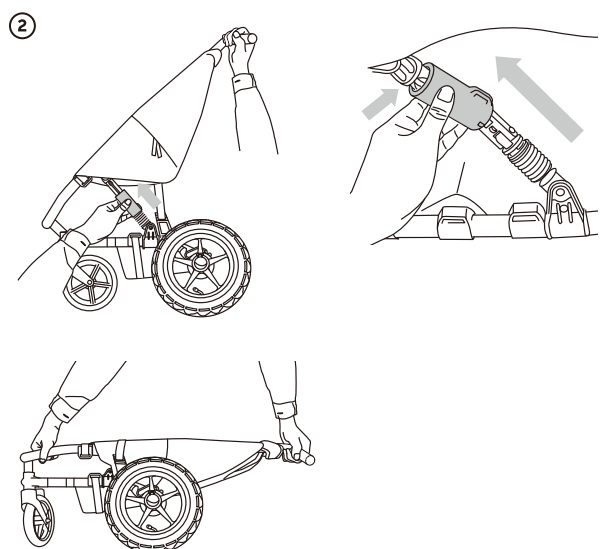
02 もう片方(左)のシリンダーをスライドさせ、内側へ折り上げ折りたたみます。

ハンドル部を支えながらもう片方(左)のセーフティロックの下部をおさえながらシリンダーをスライド(上昇)させ、内側へ折り上げシートフレームを折りたたみます(図③)。

●注意 / シリンダーをスライドさせる際、ストローラーの側面もしくは前方から操作してください。後方から操作しないでください。シートフレームが折りたたまれた際にぶつかる危険があります。

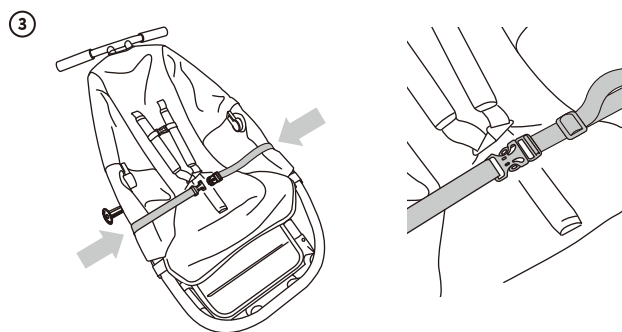
●注意 / シリンダーが上がりがきっていない状態で無理に折りたたむとシリンダーが挟まり支柱が破損する危険があります

確認: 左右のシリンダーが上がりがきっていることを確認して折りたたんでください。(シリンダー 上がった状態で保持されます)



03 フレームを結束ベルトで固定します。

ウイングに取付けられた結束ベルトをフレームの外側から巻込んでバックルを差込みます。差込んだ後、ベルトを引っ張るときにつく縛られフレームが開かなくなります(図④)。



After care お手入れ方法

シート

フレームからシートを外し、ポケットに何も入っていないことを確かめます。シートベルトもシートから外した状態で下記の注意事項を守ったうえで手洗いによる洗濯をしてください。

フード

フードのプラスチック部を左右のフードレシーバーから引き抜きます。フードの中に差し込まれているプラスチックフレームを引き抜き、下記の注意事項を守ったうえで手洗いによる洗濯をしてください。

注意事項



- ※ 洗濯機は使用しないで必ず手荒いをしてください。
- ※ 40℃以下のお湯で手洗いしてください。
- ※ 洗濯用洗剤はお使いいただけますが漂白剤入りの洗剤は使用しないでください。色落ちの原因となります。ご使用前に洗剤の注意書きを読んでからご使用ください。
- ※ 乾燥機の使用、ドライクリーニングはできません。
- ※ 長時間の浸け置きはせず短時間で洗いあげてください。色落ちの原因となります。
- ※ 洗濯後は十分にすすぎ洗いし、形を整えてから平干し、またはベビーカーに取付けた状態で乾燥をさせてください。

アルミフレーム

01 本体のアルミフレームには焼付塗装がされています。汚れた際にはよく水分を絞った布で拭き取ってください。汚れがひどい時には水で薄めた中性洗剤を布に含ませ拭いてください。その後に洗剤が残らないようにもう一度きれいに拭き取ってください。

02 塗装が剥離した場合、市販の車用補修ペンキ（タッチアップペイント）をご使用になれます。

前タイヤユニット

01 前タイヤユニットを本体より取り外し、車軸ボルトやナットの緩みなどがないかを確認してください。緩んでいた場合にはお持ちの工具をご使用になって締め直してください。

02 タイヤ表面の汚れが気になる場合は水拭きをしてください。

後タイヤ

01 タイヤ表面の汚れが気になる場合は水拭きをしてください。

アフターサービス

- 01 ご使用中に故障が発生した場合、部品の交換が生じた場合、ただちにご使用を中止し製品名、シリアルナンバーをご確認のうえ、CURIO カスタマーサービスへご連絡願います。製品の輸送には提携運送会社のお引取りサービスをご利用いただけます。（有償修理の場合は送料をいただきます）
- 02 保障期間中（お買い上げより1年間）に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合、保証規定に基づき無償修理をいたします。
- 03 タイヤ、シート等の消耗品は個別でご購入いただけます。CURIO カスタマーサービスにメールもしくはお電話でお問い合わせください。保証期間後の修理、メンテナンスはCURIOカスタマーサービスにて承ります。製品名、シリアルナンバーをご確認のうえ、CURIO カスタマーサービスへメールもしくはお電話にてご連絡願います。提携運送会社のお引取りサービスもご利用いただけます。（有料）

保証規定

- 01 製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 02 保証期間中、欠品及び取扱説明書にしたがった正常な使用常態で故障した場合無償修理をいたします。
- 03 保障期間中でも次の場合は有償修理となります。
 - ・保証書の提示のない場合
 - ・本取扱説明書に記載されている内容を守らなかった結果生じた故障、不具合の場合
 - ・お客様の手による改造や、不当な修理により生じた故障、不具合
 - ・水害、火災、地震など自然災害によって発生した故障や不具合
 - ・使用後に起こったフレームの塗装の剥がれ
 - ・シート、フードなどの使用による劣化や日焼け
 - ・使用後に起こったシートや縫製品の傷や破れ、破損
 - ・使用後に起こったタイヤの磨耗、チューブのパンク
- 04 本製品の開封後の交換はできません。ただし未開封の場合に限りお買い上げから7日以内に交換可能です。（送料はお客様ご負担）
- 05 製品による二次的な損傷については保証いたしません。
- 06 本保証は日本国内においてのみ有効です。

recycle / リサイクル

不要になったCURIO 製品の回収

不要になったCURIO製品はCURIOにて責任をもって回収、解体し可能な限りリサイクルします。不要になった CURIO 製品の回収については、CURIO カスタマーサービスまでご連絡ください。ご都合のよい日に提携運送会社が回収にうかがいます。回収を希望される3営業日以前にご連絡願います。

CURIO[®]

customer service / カスタマーサービス

電話：058-271-7430

メールアドレス：info@curio-web.com

営業時間：10:00-17:00（土日祝日を除く）

ホームページ：curio-web.com

住所：〒500-8441 岐阜県岐阜市城東通 2-36